

### 山本 シモ子 議員（一括質問一括答弁方式） 新庁舎建設、地元中小業者に仕事回らず

―市内業者参加を条件とした共同企業体を今後も考慮―

**問** リーマンショック以来の大不況の中で行われた庁舎建設において、2次、3次下請の受注が、地元中小業者に回るであろうと誰もが願ったが、実際は2次下請が63件中市内業者に3社のみ受注で、3次下請では64件中ゼロという実態である。下請業者への発注に対する考

**答** 元請業者から提出される、下請業者の一覧が記載された届出書に、入札参加資格停止中の業者などが含まれていなければ受注している。

**問** 不況が続く中で業者のみならずは税金が払えない状況で

### 山内 智彦 議員（一問一答方式） 今後の大型事業への取り組み方の展望

―健全財政を維持しながら既存施設を中心とした整備を実施―

**問** 過去20年、総合運動公園、総合文化センターを含む刈谷駅南地区の再開発、新庁舎の建設など多くの大型事業を実施してきたが、その中で健全財政を維持してきた要因をどう考えるか。

**答** 大型事業を実施していく際に、市民生活を支える基本的な事業に支障のないよう基金を設けたり、世代間調整にも配慮した市債を活用するなど十分な進行管理を行って事業実施に努めてきたことが考えられる。

**問** 今後、どのような大型事業を考えているのか。

**答** 歴史博物館建設のほか刈

### 櫻谷 勝 議員（一問一答方式） ジェネリック医薬品の利用促進で医療費低減を

―関係機関と協議のうえ準備を進める―

**問** ジェネリック医薬品とは新薬と同じ成分、同じ効能であ

価格は新薬に比べて2〜7割格安である。このジェネリック医薬品の普及促進が進めばそれだけ医療保険財政が改善されることは間違いなく。刈谷市においては普及に對してどのような対応をされているのか。

**答** 納税通知書送付の際、国民健康保険加入世帯には説明を記載した案内書を同封している。

**問** 患者の立場からすれば、後発医薬品は自己負担額の軽減につながる。患者が医者や薬剤師に提示すれば、ジェネリック

**答** 希望カードについては配

### 加藤 賢次 議員（一問一答方式） 里山イニシアティブについて

―「北っ子の森」を岩ヶ池公園の一部として整備―

**問** 刈谷市の里山の現状、特に岩ヶ池北側にある、通称「北っ子の森」の活用状況はどうか。

**答** 富士松北小では毎学期に1回、PTAや地域の方等と「北っ子の森」の保全の為に竹

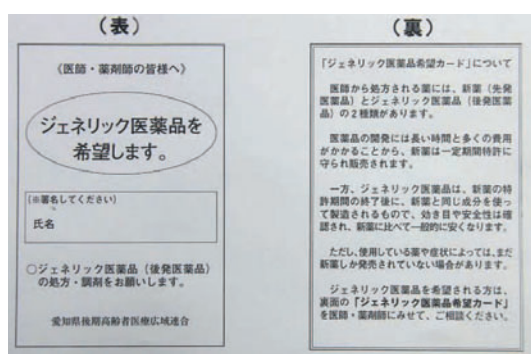
**問** 今後、大型事業を推進していく上で、20年くらいのスパンで、財政に影響を与えないよう推進していくために、どう考えるか。

**答** 新たな施設整備は、概ね完了し、今後は今ある施設をいかに長く使えるようにするかに重点を置き、施設の改修や改築などに健全財政を維持しながら対応していきたいと考えている。



自然学習の場である北っ子の森

布に向けて準備を進めている。今後の計画としては、来年7月の納税通知書送付に合わせ国民健康保険加入世帯に配布することを目標としている。また、医薬品差額通知についてもシステムの詳細がわかり次第、費用対効果などを含め調査検討していく。



ジェネリック医薬品希望カードの例

**問** 「北っ子の森」は岩ヶ池公園の整備計画区域に入っているが、どのような計画か。

**答** 将来的には森林を保全しつつ自然を身近に感じられるような公園として整備される。富士松北小には今までどおり自然学習の場として利用してもらう。

**問** 小堤西池東の自然保護林にナラ枯れの被害がでているがどのように対策しているか。

**答** 今年度、兆候が確認された10本については約半分に薬剤を注入し、残りは伐採処理をする予定である。

**問** 野焼きは病害虫の防除に有効であるが、市としての野焼きに対する考え方はどうか。

**答** 県の条例により屋外での燃焼行為は禁止されているが農

業等でやむをえないものは例外規定が定められている。毎年、市民だよりで野焼きへの市民の理解をお願いしている。

### 白土 美恵子 議員（一問一答方式） 次の世代へのウイルス伝達を防止

―感染防止の啓発に取り組み、感染者への支援を行っていく―

**問** 致死率の高い成人T細胞白血病や進行性の歩行・排尿障害を伴う脊髄疾患等を引き起こすヒトT細胞白血病ウイルス1型（HTLV-1）の主な感染経路は母乳を介して母親から子供に感染する母子感染である。このことを受け厚生労働省は、HTLV-1抗体検査を妊婦健診の標準的な検査項目に追加し、公費負担の対象とすることを決定したがどのような検査なのか。

**答** 検査内容は、成人T細胞白血病ウイルスへの感染の有無を調べる血液検査であり、2段階に分けて検査が行われる。

**問** 感染拡大の防止に対する市の支援策をどう考えているか。

**答** ミニママ教室等の衛生教育において、HTLV-1の母乳による子供への感染防止の基礎知識と関連疾病等に関する啓発を行うとともに、キャリアの方への相談にも対応して行く。

## 編集後記

◆輝かしい二〇二一年の開幕おめでとうございます。今年の干支は「卯」。デフレ不況を打ち破り元氣なうさぎのように、飛躍し躍進する一年としていきたいですね。

◆昨年4月に市総合文化センターがオープンし、駅南口が立派になりました。市制六〇周年記念事業等、色々な行事が3月まで行われます。皆様是非お出かけください。

◆駅北口の駅前広場の整備も3月には完成します。南口・北口ともに、刈谷市の玄関口としてふさわしい駅前へと変わります。◆そして、健康増進・子育て支援の機能を持った「刈谷市総合健康センター」が四月にオープンします。うれしいですね！

◆かりや市議会議だより第一〇八号は新庁舎での初議会となりまして、昨年の十二月定例会の内容を掲載しています。◆新しい議場には、質問席が設置され理事者席と対面しての一般質問となりました。市民の皆様、よりわかり易くお伝えできるよう今後も改善してまいります。

◆災害対策・障がい者施策など、市民の皆様の声を市政に届け施策に反映できるようにと、一五名の議員が質問に立ちました。この模様は、市議会ホームページでご覧いただけます。

◆地方議会の役割はますます大きくなってきます。刈谷市議会では今後、議会基本条例を制定するための研究会を設置し、議会の活性化や議会改革を進め「信頼される議会」を目指します。

◆刈谷市の更なる発展のため議員一同この一年、全力で邁進してまいります。

（議会広報委員会）